

(様式第13号)

大阪市地域公共人材 派遣報告シート

■事務局記入 ■人材記入

派遣通知(団体) No.		派遣人材名 上:登録no 中:派遣通知no 下:名前	15-006	15-010	18-002
			木村 和弘	林田 全弘	池田 弘志
派遣先(名称)	一般財団法人 安住荘				
派遣計画書の内容	初回ヒアリング		2024年7月1日		3回次 チラシ講座
	1回次 広報の講座				4回次 ラフスケッチの相談 Canva講座
	2回次 ワークシートの相談				5回次 チラシ講座の相談
派遣回次	4回次		派遣日時		2024年9月2日18:00~20:10
参加者	地域 2名	人材 事務局 1名	3名 区役所 1名	まちセン 名	その他 1名 (オブザーバー)
活動内容	●派遣依頼内容 安住荘スタッフで、Canvaをはじめ広報のスキルを身に着け、広報に弱いグループに対しても支援できるように。				
	●支援内容・プログラム 前回からの宿題(キャッチコピー5つと5人の感想)を発表し、フィードバック。チラシを作るにあたってあらゆる面から深掘りを行った。その後人材が講師となり「Canva講座」を実施。実際にCanvaを触って体験する時間を持った。次回への「宿題」も出されて終えた。				
	●成果 Aさんが欠席だったが、宿題は託されており発表された。広報の講座からここまで積み上げてきて作った「キャッチコピー」を深掘りすることで「なぜ広報するのか?」を遠くから考える機会となった。Canvaは大変便利なツールとして認識いただき、それを使って(使わなくてもよい)実際にチラシを作成してくる宿題となった。いよいよ結果(成果物)として形にしてみる。				
	●今後の予定 派遣人材が当日までに、参加者が経験した内容をしっかり振り返り、一歩でも目標に近づくフィードバックができるよう準備する。				
所感	登録no.	名前	所感		
			「チラシを作る」「広報する」といっても今回の取り上げた「課題」が「安住荘」ならではの、大変「ニッチ」な内容であるため個々の「深掘り」に時間がかかった。リーダーとしてその深掘りする時間と、本来の目的を果たす工程をつまく配分できなかった。最後まで参加者が「疎外感」を持たないように多くの知見を得た体験となるよう準備したい。		
			時間が無いながらも、宿題に取り組んでいただけた。次回は最終回ということで、前向きな雰囲気で行われるようにしたい。		
			参加者のイベントの真のターゲット絞りこみがもう少し必要だが、今回の派遣では時間が無いと思われるので、次回はチラシづくり(モノづくり)の楽しさを味わってもらい、今後の活動に活かしてほしいと思っている。組織としての目標が達成できるかどうかという視点でのフィードバックは厳しいものになると思うが、雰囲気としては楽しい時間となるよう頑張りたい。		